

*** 一般社団法人新技術協会からの研修会開催のご案内 ***

平成29年1月

各 位

一般社団法人 新技術協会
会 長 伊藤 源嗣



～ 少人数制による ～

第8回「知的財産権と創造的経営」研修会（全10回）のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年開催致しました第7回同研修会は、本年1月に終了いたしました。参加者の皆様より、知的財産権についての理解を深めるとともに、貴重な異業種交流の場となるとのご感想を頂いております。

引き続き来年度の研修会を平成29年4月より開催することと致しましたのでご案内申し上げます。

本研修会では、(元)パナソニック電工(株)知財渉外部長 弁野純一氏 及び現在第一線でご活躍の弁理士 西澤国際特許事務所 西澤利夫所長 の両名を常任講師としてお迎えし、別紙プログラムの通り、平成29年4月20日(木)を第1回目として平成30年1月まで、毎月1回(第3木曜日)の全10回で開催いたします。

本研修会の特色のひとつとして常任講師に随時質問・相談・アドバイスを受けることが出来るとともに、毎回活発な意見交換が行われて、実践に即した研修を受けることができることから、参加者にとって誠に良い機会になるものと考えております。

定員20名になり次第締切らせて頂きますので、同封のファクシミリ用紙あるいはEメールにてお早めにお申込下さい。

敬具

記

1. 「知的財産権と創造的経営」研修会

グローバルな競争の激化とともに、知的財産権は企業経営にとって戦略的な重要課題の一つになっています。特に、わが国産業の創造的革新の大きな力として期待されている中堅・中小企業、そしてベンチャー企業にとっては知的財産権についての正しい理解とその戦略的活用は企業の命運を左右すると言って良いでしょう。

このような時代変化におきまして、改めて知的財産権を経営資源として見直し、戦略手段としての価値と有効性を高めていくための方策を検討することは大変に有意義であると思われまます。

参加者皆様の個別事情にまで検討の成果が生かされるものと思われまます。

多様な業種の皆様、特に中堅・中小、そしてベンチャー企業の皆様の参加を歓迎いたします。

2. 本研修会の特徴

- (1) 知財の全ステージ（出願～権利活用、企業における知財管理、訴訟、グローバル知財等）に亘って解説すると共に、各ステージでの“ソリューション”を提供いたします。
- (2) 「知財戦略」「知財の活用」他、パナソニックでの事例を交えて解説いたします。
- (3) 受講生のニーズに応える為
 - ① 希望テーマを募り、当該テーマに基づき解説します
 - ② 具体的知財問題について、受講生各位に口頭又はメールで個別コンサルティングをいたします。

3. 研修会の運営

別紙プログラムのもとに、毎回2名の講師を座長として、参加者各位の討議を交えて進めてまいります。

研修会講師： 弁野 純一 氏

(元)パナソニック電気(株) 知財渉外部長

西澤 利夫 氏

西澤国際特許事務所 所長

元特許庁審査官・審判官、昭和61年弁理士登録

期 間： 平成29年4月～平成30年1月 (14:00～16:30)

開催回数： 全10回 毎月1回（原則として第3木曜日に開催）

第1回 開催は、平成29年4月20日（木）

※8月は、第4木曜（24日）の開催

毎月開催日の2週間前に開催案内メールを差し上げます。
やむを得ず欠席される場合は、代理の方の出席ができます。

会 場： 科学技術振興機構（JST）東京本部会議室
東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ
科学技術振興機構（JST）東京別館会議室
東京都千代田区五番町7 K's 五番町

参加費： 参加1名につき20万円（全10回）

（申込後、新技術協会より参加請状と共に請求書をお送りいたしますので、請求書受領後に指定の口座へお振り込みをお願い致します。）

お申し込み先： 一般社団法人 新技術協会

担当：中里京子・山口和雄

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-24

湯島ペアービル9階

TEL 03-3868-2077 / FAX 03-3868-2050

Eメール shingikyou@shingikyou.or.jp

第8回「知的財産権と創造的経営研修会」プログラム

【本研修会の特徴】

1. 知財の全ステージ（出願～権利活用、企業における知財管理、訴訟、グローバル知財等）に亘って解説すると共に、各ステージでの“ソリューション”を提供いたします。
2. 「知財戦略」「知財の活用」他、パナソニックでの事例を交えて解説いたします。
3. 受講生のニーズに応える為
 - ①希望テーマを募り、当該テーマに基づき解説します
 - ②具体的知財問題について、受講生各位に口頭又はメールで個別コンサルティングをいたします。

【講義テーマ】

第1回（4月）『企業にとっての知的財産権 I』

1. 知的財産権の概要
2. 特許の基礎知識
3. 知的資産経営
4. 事業経営と知的財産権(特許)
5. 特許出願の重要性と問題点
6. 特許に要するコスト

第2回（5月）『企業にとっての知的財産権 II』

1. 意匠
2. 商標
3. 著作権
4. 不正競争防止法（営業秘密を中心に）
5. 営業秘密管理（営業秘密管理の意義、ポイント、実践、裁判例）

第3回（6月）『知的財産権と事業活動』

1. 知的財産戦略とは
2. 知的財産活動の推進
（発明の認定、権利解釈の考え方、権利解釈手順、特許情報の活用）
3. 権利行使の観点からの明細書の留意点
4. 侵害予防対策（特許侵害からビジネスを守る）
5. 職務発明制度改定（法35条）への対応

第4回（7月）『特許の活用と特許侵害係争』

1. 特許権の機能
2. クロスライセンス戦略
3. 技術標準と特許
4. 権利行使（特許侵害係争）
5. 特許訴訟

第5回（8月）『特許の活用事例（係争・ライセンス事例）』

1. オフェンス事例
2. ディフェンス事例
3. 企画に絡む事例
4. 海外係争事例
5. 知財稼ぎ（ライセンス収入獲得）活動

第6回（9月）『知的財産と契約 I』

1. 契約の基礎
2. 知的財産関連契約
3. 秘密保持契約
4. 技術提携ガイドライン
5. 秘密保持契約(案)のドラフト（相互開示）

第7回（10月）『知的財産と契約 II』

1. 共同研究（開発）契約
2. 共同研究開発に関する独占禁止法
3. 委託研究開発における知的財産マネジメント運用ガイドライン
4. 特許ライセンス契約
5. 海外進出時の契約（主としてアジア）
6. 技術流出問題

第8回（11月）『海外進出における知的財産問題』

1. 世界の特許出願情勢
2. 外国特許出願のポイント
3. 欧州特許制度の特徴と強い権利取得
4. 米国特許制度の特徴と強い権利取得
5. 米国特許訴訟の仕組みと実態

第9回(12月)『中国における知的財産諸問題と対策』

1. アジア諸国の知的財産事情 (韓国、台湾、インド)
2. アジアでの模倣問題 (中国を中心に)
3. 中国での知的財産環境
4. 権利行使・知的財産訴訟状況
5. 実用新案権の取得及び活用
6. 技術契約の問題点と対策
7. 事業展開に際しての知的財産権に関する課題と対策
 - ① 自社技術の保護
 - ② 発明の取り扱い
 - ③ 出願～権利化
 - ④ 技術移転
 - ⑤ 営業秘密保護対策 他

第10回(1月)『フリーテーマ (受講生各位から戴いたテーマ)』

<参考> 昨年度のテーマ

1. 米国における知財問題 (パテントトロール、ITC)
2. 各国特許制度比較 (グレースピリオド、差し止め、無効抗弁、共有特許、特許訴訟、営業秘密他)
3. 交渉について (論理的交渉をする為に)
4. 社内問題
 - ① 特許出願に対する考え方
 - ② 知財コストの考え方
 - ③ 知財部門のステークホルダー
 - ④ 代理人の選定
 - ⑤ 特許訴訟準備の為の社内対応

FAX 03-3868-2050

～申し込みファクシミリ用紙～

一般社団法人新技術協会 行

平成29年__月__日

第8回「知的財産権と創造的経営」研修会

参加申込書

御社名

所在地 〒

TEL/FAX /

E-MAIL

所属・役職名

フリガナ

御出席者名

研修会への参加を推薦された方の役職・氏名